

平成 26 年度

# 事業計画及び収支予算書

公益財団法人いばらき文化振興財団

## 目 次

I 事業計画.....	1 ~ 14
II 収支予算.....	15 ~ 19

## I 事 業 計 画

基本方針	1
1 法人運営事業	1
2 公益目的事業 1(文化振興事業)	2 ~ 7
3 収益事業 1 (県民文化センター自主事業)	7
4 公益目的事業 2 (水族館事業)	7 ~ 13
5 収益事業 2 (水族館売店事業)	13 ~ 14

## I 事業計画

### 基本方針

当財団は、平成25年4月に公益財団法人に移行し、「各種の文化振興事業を行うことにより個性豊かな県民文化の振興を図り、もって国際性豊かな文化の県づくりに寄与する」ことを目指して新たにスタートした。

平成26年度は公益法人としての経営2年度目として、公益性にあふれた事業を遂行することによって、使命達成を目指すとともに、公益認定基準を遵守した健全で責任ある経営に努めるものとする。

本年度事業においては、初年度経営の実績を踏まえつつ、新法人移行に合わせ策定した中期経営計画に即し、様々な芸術公演を県民に提供するとともに、文化芸術の担い手を育成するほか、県民の文化活動の拠点である「茨城県立県民文化センター」の管理運営、子どもから大人まで楽しみながら学ぶ海の総合ミュージアムである「アクアワールド茨城県大洗水族館」の運営を行い、県民から愛され、親しまれる施設運営と事業展開に努める。

文化振興事業については、自主事業に加え、本県文化芸術のさらなる活性化や震災からの心の復興を図り、優れた文化芸術にふれる機会を県民に幅広く提供することを目的とする県の委託事業を併せて実施する。また、県民文化センターの管理運営においては、新たなサービスの提供によるサービス向上と経費節減に努めながら、引き続き指定管理者として施設の適切な運営を行うものとする。

水族館事業については、原発事故の風評による入場者の減少から完全に脱却するための重要な年度と位置付け、各種の誘客促進策を積極的に展開することによって、入場者を確保する。

なお、平成26年度の財団全体の施設年間利用者目標数は、前年度当初計画比12万人増の170万人（県民文化センター利用者数60万人、アクアワールド茨城県大洗水族館総入場者数110万人）とする。

### 1 法人運営事業

#### (1) 事務局の運営

県から指定管理を受けた茨城県立県民文化センターの管理運営及び財団自らが運営するアクアワールド茨城県大洗水族館の運営及びこれらに必要な付帯事業について、県及び各事業所との連絡調整等引き続き緊密な連携を図る。また、業務推進の進行管理及び事務事業執行についての指導を行うとともに次の事業を行う。

ア 理事会、評議員会の開催をはじめ、財団の事業計画及び収支予算等理事会議案の策定を行う。

イ 中期経営計画推進委員会において、進行管理及び進捗状況を検証するとともに、計画達成に向けた対策を行う。

ウ 職員の資質向上を目的とし、階層別研修を行うほか、各種セミナーを積極的に活用し、必要な知識の習得に努める。また、救急法に関する研修を実施し、不特定多数の利用者が利用する施設職員として必要な技能の習得を図る。

## 2 公益目的事業 1 (文化振興事業)

### (1) 自主公演事業 (主催事業 21 事業, 共催事業 12 事業, 計 33 事業)

県民の文化的要望に応えるため、様々な文化芸術に接する機会の充実を図り、個性豊かな県民性を養い県民の文化意識の高揚を図る。

なお、事業区分を普及、参加創造、鑑賞に区分し事業目的の明確化を図る。

#### ア 普及事業

総合舞台芸術である「オペラ」を身近に鑑賞できる機会を提供するため、「親子で楽しむオペラ教室」を開催するほか、茨城にゆかりのある演奏家を小中学校等に派遣し、生の演奏を体験してもらう「音楽出前講座」及び文化施設等を会場とする「公共スペースコンサート」を開催し、本県音楽文化の普及に努める。

さらに、本県の有望な新進演奏家に発表の機会を提供し本県音楽文化の向上を図るため、茨城県新人演奏会を開催する。

#### イ 参加創造事業

本年度第 40 回を迎える茨城県新人演奏会の開催を記念して、地元オーケストラと新人賞等の受賞者によるコンサートを開催するほか、同新人演奏会に出演した演奏者による「プロムナードコンサート」やアットホームな雰囲気の中で音楽に触れることを目的とした「アットホームコンサート」を開催し、若手演奏家の育成と発表の機会を提供する。

#### ウ 鑑賞事業

吹奏楽として人気、実力共に高いオーケストラによるコンサートを開催するとともに、日本の優れた伝統芸能の能狂言や歌舞伎公演の鑑賞機会を提供する。また、歌舞伎公演については、県内の公立文化会館と連携した鑑賞ツアーやアットホームコンサートを開催するほか、茨城県民の日の記念事業として子どもから大人までが一緒になって楽しめる NHK の「みんなのうた」コンサートを開催するなど県民に多種多様な鑑賞機会を提供する。

#### (主催事業)

区分	開催予定日	公演名・事業名	会 場
普及事業 (9事業)	7月13日(日)	歌舞伎をより楽しむ会	県文小ホール
	9月21日(日)	第40回茨城県新人演奏会	県文大ホール
	11月4日(月)	オペラをより楽しむ会	県文小ホール
	12月13日(土)	親子で楽しむオペラ教室(2事業)	高萩市文化会館
	12月14日(日)		大洗文化センター
	通年	音楽出前講座(2事業)	県内小学校
	通年	公共スペースコンサート(2事業)	県内公共施設
参加創造事業 (6事業)	7月1日(火)	プロムナードコンサート Vol. 9	県文小ホール
	2月1日(日)	プロムナードコンサート Vol. 10	県文小ホール
	11月、12月	アットホームコンサート 2014(2事業)	グリル「モンマルシェ」
	12月	アットホームコンサート 2014(1事業)	アクアワールド・大洗
	3月8日(日)	茨城県新人演奏会第40回記念コンサート	県文大ホール

区分	開催予定日	公演名・事業名	会 場
鑑賞事業 (6事業)	7月13日(日)	松竹大歌舞伎（2回公演） 出演：中村吉右衛門、他	県文大ホール
	8月18日(月)	佐渡裕&シェナウインドオーケストラ	県文大ホール
	11月13日(木)	みんなのうたコンサート出演	県文大ホール
	11月15日(土)	賢者の贈り物	県文小ホール
	1月10日(土)	新春 笑ホール寄席（2回公演）	県文小ホール
	1月24日(土)	能狂言	県文大ホール
主催事業 計（21事業）			

(共催事業)

区分	開催予定日	公演名・事業名	会 場
鑑賞事業	5月25日(日)	中国国家京劇院（2回）	県文大ホール
	6月14日(土)	森山良子コンサート	〃
	8月22日(金)	ミュージカル「王様と私」	〃
	9月6日(土)	平原綾香コンサート	〃
	9月7日(日)	プラス	〃
	9月25日(水)	音楽コンサート予定	〃
	10月7日(火)	葉加瀬太郎 コンサート	〃
	10月25日(土)	鈴木雅之コンサート	〃
	10月29日(水)	フラメンコ	県文小ホール
	音楽(ポップス、その他の音楽)コンサート3事業		県文大ホール
共催事業 計（12事業）			

※ 会場欄の「県文」は県民文化センターの略。

(2) 受託公演事業（6事業）

茨城県からの受託事業として次の事業を行う。

ア いばらき文化芸術創造・発信事業

本県の文化芸術のさらなる活性化や震災からの心の復興を図るため、優れた文化芸術にふれる機会を県民に幅広く提供する。

県内中高生を対象に世界で活躍する県内の室内管弦楽団メンバーによる公開レッスンを開催し、県内中高生の演奏技術の向上を図るほか、新人演奏会出演者等本県ゆかりの音楽家をソリストに迎え、プロのオーケストラによる親子を対象としたコンサートを無料で開催する。さらに、本格的で質の高い海外オペラ公演等を鑑賞する機会を提供する。

(受託事業)

開催予定日	公演名・事業名	会 場
5月24日(土)	水戸室内管弦楽団メンバーによる公開レッスン	水戸芸術館
5月26日(土)		県文大ホール

開催予定日	公演名・事業名	会 場
8月30日（土）	親子で楽しむオーケストラ	神栖市文化センター
8月31日（日）		取手市文化会館
9月23日（火）	日露交歓コンサート	坂東市民音楽ホール
11月4日（月）	スロヴェニアマリボール国立歌劇場「アイーダ」	
受託公演事業 計（6事業）		

#### イ 文化の担い手育成事業

本県出身等の若手演奏家の演奏技術の水準を高め、文化芸術の担い手の育成を図るため、茨城県新人演奏会出演者等を登録アーティストとして取りまとめを行うとともに、県内の小中学校での音楽出前講座や公共スペースでの演奏会を実施し出演機会を提供する。

また、笠間市において開催される世界的講師陣による「かさま国際音楽アカデミー2014」への参加を支援し若手演奏家の育成を図る。

#### (受託事業)

開催予定日	公演名・事業名	会 場
通年	音楽出前講座	県内小中学校20校
通年	公共スペースコンサート	県内公共施設等4会場
3月	かさま国際音楽アカデミー参加支援	—
受託公演事業 計（25事業）		

#### (3) 財団振興事業

財団振興積立金を活用し、財団職員の一体感を醸成するとともに、各事業所間の連携を図りながら、財団の事業内容を広く県民にアピールするため、各種イベントへの参加や財団事業全般の新聞広告掲載等広報活動を展開する。

#### (4) 文化芸術活動への助成

県内各地における県民の自主的・個性的な文化活動を支援・奨励するため、文化活動を行う団体等に対して事業費の一部を助成する。

#### (文化活動団体等事業)

県民が自ら実施する美術展、音楽会、演劇等の活動成果発表事業をはじめ、各種大会参加事業、備品整備事業、刊行物発刊事業等の文化活動に対して助成する。

事 項	内 容
助成件数	40事業
1事業当たりの助成額	助成対象経費の2分の1以内 50万円を限度 (各種大会参加事業のうち、国際事業は3分の1以内)

## (5) 茨城県立県民文化センターの管理運営事業

本年度は、第2期指定管理期間の4年目に当たり、申請した際に掲げた目標の検証を行いながら、県民文化センター利用者のニーズに応え安全安心で快適に施設が利用できるような管理運営に努めていく。

### [指定管理部門（公1）]

本年度は、施設利用において東日本大震災前の水準まで回復していることから、中期経営計画のとおり利用率は施設全体で83%とした。今後は、一層のサービスの向上を図るとともに、誘客促進対策として新規団体及びリピーターの確保及び閑散期の利用促進に努める。

なお、開館から47年が経過し施設の老朽化が見られることから、計画的な修繕を行い施設・設備の延伸に努め、茨城県とともに進めていく。

#### ア 施設の利用促進及びサービスの向上

##### (ア) 割引制度による利用促進

閑散期の利用促進を図るため、1月限定で「施設利用料金の割引」を継続し実施する。（50%割引）

なお、小ホールの音響改修工事は12月に実施する。

##### (イ) 新規利用者（団体等）への誘客及びリピーターの確保

- ・ 催し物ご案内を毎月12,000部発行（200箇所程度配付）。
- ・ ホームページのリニューアル（新規更新）及び、随時更新。
- ・ ダイレクトメールの発送及び、年2回ほど企業（大規模団体）等への訪問を実施。
- ・ 新聞等広告掲載による広報活動及び、取材及び無料記事掲載ができるような各種情報及び話題提供。

##### (ウ) 関係各団体等との連携強化。

- ・ 茨城県公立文化施設協議会及び全国公立文化施設協会と連携し、情報を共有する。
- ・ 県民文化センター友の会との連携。
- ・ 茨城県及び水戸市観光協会（コンベンションビューロー）等各関係団体との連携。

##### (エ) サービスの向上

利用者が快適に施設を利用できるよう、新規に集会室等でのインターネット（パソコン）を使用できるサービスを開始し、窓口業務の会場申込み及び公演等チケット販売の営業時間を午後7時まで実施する。また、申込書等の書式をダウンロード出来るよう環境を整備し、事務手続きの効率化を図るとともに、応接研修を実施する。

利用満足度調査（アンケート調査）を実施し、その結果をホームページに掲載する。

(オ) イルミネーション事業

冬の風物詩として話題となるように努め、またグリーン電力を使用して実施するなど環境へも配慮しながら県民文化センターのイメージアップを図る。

\*平成26年度見学者数の目標は30,000人とする。

(カ) 県民文化センター友の会の運営

県民文化センター事業及び県民文化水準の向上に大きく寄与するため設立され、当初301名の会員数であったが、現在では約2,500名前後となり、今後も会員の確保に努めるとともに事業の推進を図る。

イ 安全・安心で快適な施設づくり

(ア) 施設整備計画

施設の老朽化を抑制するとともに長寿命化を図るために、中期経営計画に沿った計画的な修繕を実施する。なお、危険箇所の早期発見及び事故の未然防止に努め、緊急性の高い修繕箇所は優先し県と協議しながら実施する。

また、バリアフリーについては、催し物に合わせた障害者専用駐車場の臨時増設、車イスの増台、案内誘導板の増設を実施する。

(イ) 危機管理対策

東日本大震災で得た教訓を活かし、火災訓練のほか大規模地震を想定した避難訓練を実施し利用者の安全確保に努める。また、危機管理対応マニュアルの常時見直すとともに、全職員及び文化センター委託業者並びに使用者等、関係者全員に周知徹底させ、災害発生時には速やかに行動が出来るようとする。

- ・ 避難訓練（年2回、火災及び大規模地震を想定）の実施。
- ・ 危機管理対応マニュアルの常時見直し。
- ・ AEDの管理及び作動方法習得の徹底。
- ・ 火災、地震発生時の対応のほか、不審者への対応、水害・傷病等への対応。
- ・ 関係各団体との連絡体系の整備（毎年確認）。

\*施設利用計画

区分	利用者数(人)	利用日数(日)	利用率(%)
大ホール	258,000	268	83
小ホール	72,000	253	85
集会室（6室）	90,200	343	85
分館集会室	40,300	329	85
和室	3,700	211	80
一般展示室	70,000	284	80

区分	利用者数(人)	利用日数(日)	利用率 (%)
県民ギャラリー	65,800	235	80
計	600,000	1,923	83

\* 利用率とは、利用可能日に対する利用日数の割合。

### 3 収益事業1（県民文化センター自主事業）

#### (1) グリル事業

グリル・売店は文化センター利用者への利便施設としての役割を踏まえた運営を図るため、グリル及び売店への利用者のニーズを把握し、営業形態、コストの見直し、経費節減を図り、健全経営に努める。

また、サービスの向上として、内外装の改善、応接マナーの向上及び、割安感のあるメニューの提供を図る。

#### (2) 駐車場事業

千波公園・県民文化センター前駐車場は、主に県民文化センター利用者のほか千波公園及び茨城県近代美術館等を利用するための多目的な駐車場として利用されており、利用者が安全安心で快適に利用できるよう施設の維持管理に努める。また、本年度末までの予定で、バリアフリー化を推進するため、県工事による駐車場の全体改修を行う。

・平成26年度利用台数計画 161,000台

### 4 公益目的事業2（水族館事業）

#### (1) 施設管理運営事業

水族館は、基本テーマである「茨城の海と自然・世界の海と地球環境」に沿って、地域の自然と世界の水生生物の生態環境を通して、生物の多様性や自然環境、地球環境について楽しみながら学ぶという、教育と娛樂性を兼ね備えた施設として運営する。

また、水族館が本来持っている「展示」「普及」「研究」の3つの機能を相互に連動させ、魅力ある海の総合ミュージアムとして次の機能を持たせた施設として運営する。

ア 驚き・楽しさ・やすらぎのアミューズメント（娯楽）要素を持った観光レクリエーション施設

イ 地域の文化と経済に貢献する拠点施設

ウ 海を通した環境教育の場としての生涯学習施設

エ 自然保護と種の保存に関する実践・研究施設

オ 平成26年度入場者計画 総入場者数 1,100,000人

大震災と原発事故風評による入場者の減少から完全に脱却するための重要な1年と位置づける。

そのために、誘客促進営業や催事、広報計画をとおして「魅力ある水族館」の情報発信とサービス向上に努め、目標入場者数の確保を目指す。通年で県内、栃木県、埼玉県、千葉県を重点活動地域とするほか、さらに、繁忙期の誘客では福島県、群馬県への水族館情報の発信を行う。

さらに、館内案内、生物展示解説、イルカ・アシカの能力公開等を充実させ、広報活動の強化に加え新規生物の導入、さらには生物の繁殖にも努める。

また、中長期修繕計画に基づく施設整備について、緊急性のあるものから実施するなど資金の有効な活用を図るとともに安全な施設管理に努め、採算性の視点に立った効率的な予算執行を行う。

## (2) 飼育展示事業・調査研究事業

基本テーマに沿った生物の多様性について、「見て、触れて、遊びながら楽しく学べる」展示の充実に努めるとともに水生生物等に関する調査・研究を行う。

また、種の保存、生物と自然環境に関する研究成果を還元し、教育的側面から生涯学習施設としての役割を担うほか、学芸員実習や中学生の職場体験学習、小学生総合学習等の受入れを行い、博物館相当施設としての役割を担う。

### ア 魚類展示

飼育生物の展示・飼育・繁殖研究を行い、入館者のニーズに即した新規生物の研究開発に努め、対外的な情報発信を強化する。既存水槽設備を最大限に活用するとともに、展示テーマ以外の生物についても、季節展示やイベント・企画展などに組み入れる。また、クラゲ類の一層の展示充実を図るため水槽を増設し、クラゲ展示ゾーンとしての確立を試みる。

対話形式の展示解説では、アクアウォッキングやシャークウォッキング、マンボウ・出会いの海の大水槽でのお食事タイムや水族館探検ツアーにおいて、更なる内容充実を図る。

生物収集では、サメ類・クラゲ類・イカ類・深海生物などの収集強化とともに、他水族館や漁業者・水産関係機関との情報交換及び収集活動の連携を強化する。

また、新たな展示生物種の導入に向けて生物収集基地の開発のため、現地調査とともに関係構築を図る。

調査研究では、大型サメ類の行動・繁殖、造礁サンゴ類発生卵からの育成、県内のウミガメの生態・産卵、県内のマンボウやクラゲ類の生態・分布などをテーマに継続推進し、データの集積とともにその成果を公表しながら試験飼育を行い、できる限り展示に反映させるよう努める。

### イ 海獣展示

海獣類の飼育、展示、繁殖、育成に関する研究を推進するとともに、イルカ・アシカのオーシャンライブによる能力公開及びラッコ、エトピリカ、ゴマフアザラシ、カリフォルニアアシカ、フンボルトペンギン、カピバラの餌付け解説（お食事タイム）、ペンギンのお散歩（5月6日まで実施し、11月から再開）を行うなど、動物の生態について、より楽しく学べる形で紹介する。

イルカ・アシカオーシャンライブでは、目玉として定着してきた「イルカ・アシカ愛のランデヴー」やイルカの客席への水かけパフォーマンスを継続しつつ、水中パフォーマンスの充実を図り、お客様との一体感のある内容でライブを盛り上げる。カリフォルニアアシカについては、新たにショーステージを作成しお客様の間近で実施するパフォーマンスを披露する。また、将来に向けた

ライブ出演頭数の確保、レベルアップを推進するため各動物の訓練をさらに推進する。

繁殖については、4年続けて出産がある鯨類の繁殖を目指すとともに、ラッコの6個体目の出産・繁殖を図るほか、引き続きエトピリカの繁殖を推進する。アシカについては、昨年夏に交尾し、出産が見込まれる雌2個体（1月20日現在、1個体は妊娠を確認）において繁殖の成功を目指す。また、飼育施設を有効利用し、血統の良好なフンボルトペンギンの繁殖を計画する。

保護・調査研究については、関係機関との連携を図りながら茨城県沿岸への漂着（ストランディング）調査活動を引き続き推進する。

その他、「イルカ・アシカの愛のランデバー」など当館の取り組みについて、アメリカで行われる国際海洋動物トレーナー協会の国際会議において発表を行い、世界に向けて紹介する。また、海獣類の展示内容充実を目指し、展示改修等検討委員会において屋外の展示施設改修についての検討を進める。

#### ウ 自然博物館水系展示水槽管理受託事業

ミュージアムパーク茨城県自然博物館から委託を受けた水系展示水槽の管理を行うとともに、水生生物の収集をはじめ各種展示解説や、自然環境調査協力等の業務を適切に実施する。また、受託継続している管理体制の見直しを検討する。

#### (3) 教育普及事業

生き物や環境等について、誰もが気軽に楽しみながら学ぶことができる活動を展開するため、展示物及び設備や人材の活用を図り、館内外で発見体験学習、レクチャー・展示解説等の活動を進めるとともに、内容については常に見直しを図る。

また、ホームページや機関誌を通して水族館に関連した各種情報の提供に努めるとともに、学校等からの要請により、自然観察会や講演会等への講師派遣の他、移動教室を開催する。さらに、教育機関からの実習、職場体験学習や各種団体等の研修の受け入れを行うとともに、生涯学習施設としてボランティア活動支援を行う。

その他、生涯学習関連施設間との新たな事業の展開を目標に県や地域との協議・調整を実施する。

#### ア 発見体験学習の実施

生き物や自然環境、水族館に対する理解を促すため「自然体験塾」や会員制教室「アクアパル」、「さかなの絵コンクール」等の事業を実施する。自然体験塾については、人気のある水族館ナイトキャンプを6回実施する。

#### (発見体験学習内容)

名 称	内 容	期 間
(1)自然体験塾	実験観察室での生き物観察や工作、野外での自然	通 年

名 称	内 容	期 間
	観察会等、生き物や自然に関する講座を20テーマ、延べ28回実施。	通 年
(2) アクアパル	ポイント制会員クラブ。前年度までの2年間の講座に参加してポイントを獲得した参加者に対し、水族館ナイトキャンプ等の特別講座を3回実施。	5月頃 11月頃 2月頃
(3) さかなの絵コンクール	入館者（小学生）を対象に、展示生物を写生する機会を提供し作品展と表彰式を開催。写生会は4回実施。	10月～12月
(4) 絵てがみ展	旬の食べ物や行事、花や生き物等、季節や自然をテーマにした作品展の開催。毎月優秀作品を選考して館内に展示。	通 年

#### イ レクチャー及び展示解説の実施

展示生物や自然・環境に対する理解を深めてもらうために、入館者を対象に展示生物の生態等に関する解説サービスとして、なるほど魚っちゃんぐ（お魚発見教室レクチャー）、アクアウォッチング（水中対話解説）、お食事タイム（給餌解説）及び水族館探検ツアー（バックヤード案内）等の各種ショープログラムを実施する。

また、解説員の業務管理や指導、類似施設研修等を行い、レベルの高いパフォーマンスの維持に努める。

#### ウ コンピューター情報運用管理

館内の情報端末や館内外へ向けたホームページ上において、水槽展示生物トピックス情報や環境保全、水族館の機能や役割等に関する情報発信について管理を行う。ホームページはコンテンツ検索利便性向上のため、随時新たな情報の更新に努めるとともに、スマートフォンサイトのアプリ開発等、コンテンツの充実を図る。また、ホームページのアクセス解析により閲覧者の動向分析やPR効果を評価し、さらに有効な広報媒体作りに活かす。日常のコンピュータシステム管理については、システム端末等において散発的に発生した動作不良、部品交換等の不具合解消に努める。その他、コンピューター機器や解説ソフトの更新計画について検討を行う。

#### エ ボランティア活動支援

生涯学習の一環として実施しているボランティア活動の支援を行う。年間を通して募集・研修を行うとともに毎月1回役員会を開催し、要望の集約、活動課題、研修計画等の検討・整理を進める。6月に総会、10月に他園館との交流研修、11月に活動発表会「マンボラフェスタ」、2月に研修を開催する。

#### オ 機関誌「Sea遊」の発行

水生生物等への理解促進を目的に、水族館のイメージアップ、広報を図るため

展示生物の興味深い生態やトピックス等、様々な情報を紹介する機関誌を年2回発行し（第26・27号）、国内の動物園・水族館や県内の教育機関及び栃木県の小中学校等に配布する。

#### カ 企画展の開催

常設展では表現できないテーマを取り上げて、生き物や自然環境についての理解を促進するため、企画展を開催する。また、参加体験型の付帯事業を行う。その他、平成28年1月上旬から開催する第24回企画展「子育て展」（仮称）の開催準備を進める。

#### （企画展の内容）

名 称	内 容	開催期間
第22回企画展 「カニマニア王国」	食用としても利用され、多くの人に親しまれている「カニ」にスポットを当て、分かりやすく展示する。	平成26年1月18日～5月11日
第23回企画展 「プランクトン展」（仮称）	身近な存在でありながら、日頃意識することの少ない「プランクトン」の大きさや形、存在の重要性等を分かりやすく解説する。	平成27年1月上旬～5月10日 (予定)

#### キ 深海シアター・海の生き物科学館及びお魚発見教室展示機器等の運用管理

各アイテムの適正な展示機能を確保するため、隨時、生物の補充や散発的に発生した動作不良、部品交換等の各種不具合の迅速な解消に努める。また、将来の展示物更新のために基本計画を検討する。

その他、遊具（キッズランド）については、利用者の安全第一を考えた保安管理を実施する。

#### ク 自然教室等への講師派遣

教育機関等の各種要請に応じ、水生生物や環境等をテーマとして、自然観察会、移動教室等の各種館外活動を行う。

#### ケ 研修会等の受入れ

教育機関や団体からの要請に応じ、水生生物や飼育設備等をテーマとして、バッカヤード見学、館内レクチャー、夜の水族館等の各種館内活動を行う。

#### コ 実習生の受入れ

社会教育施設、博物館相当施設としての役割を果たすため、学芸員・飼育実習、職場体験学習、インターンシップ等を受け入れる。

#### （4）交流・連携事業（誘客促進）

総入場者数110万人を目標におき、重点地域への情報発信と観光業者への団体

送客営業を積極的に展開する。

また、誘客に大きく繋がるリピーター確保のため「年間パスポートギフト販売」の販路開拓やマスコミを意識した情報発信に努め、個人・団体に「アクアワールド大洗水族館」の知名度向上のための広報を実施する。

情報発信には、新聞雑誌情報、テレビラジオ等マスメディアを効果的に活用するほか、SNS等の情報発信を強化するなどWeb媒体に主眼をおいた情報露出による広報宣伝に努め、季節毎の各種館内イベントや新鮮な生物情報を発信していく。

茨城県内同様に栃木県内への誘客促進を継続し、さらには新年度重点地域を埼玉県及び千葉県東葛地域と設定し移動水族館や県観光協会をはじめとする連携団体との観光キャンペーンを実施する。

夏の特別展は、ダイオウイカやダイオウグソクムシなどが話題となっている深海ブームを背景に体験型アトラクションや話題性のある展示を行い「親子で楽しめる特別展」として、5月からPR広報し集客に努める。

営業活動では、集客施設へのリーフレット配付及び観光業者への訪問活動を実施し、継続して「魅力ある水族館」の情報発信を展開する。

(催事計画)

催 事 名	期 間
GWイベント2014 *5/3~6「ふれあいフェスティバル」	4/26~5/6 GW期間
七タイベント“七夕水槽、連携願い事短冊、館内装飾”	6/1~7/7
第39回 動物愛護標語コンクール	7/1~31
特別展「深海展」仮称 *体験型展示、生体展示	7/19~9/15
アクアフォトコンテスト2014 館内撮影生物写真のコンテスト、表彰	募集 6/1~8/31 投票 9/6~9/30
夜の水族館サマーナイト「延長営業」<那珂湊花火>	8/12 予定
ハロウィンイベント2014 ○ハロウィン水槽・男爵からのプレゼント ○ハロウィンオーシャンライブ ○ハロウィンチャレンジ・仮装歓迎	10月 土日祝祭日 (延べ9日)
アクアワールド・クリスマス2014 館内装飾 ○クリスマスイベント・装飾と特別水槽 ○チャレンジゲーム ○クリスマスコンサート	11/15~12/25
年末・年始イベント<チャレンジゲーム・干支水槽他>	12/27~1/12
バレンタイン&ホワイトデーイベント	1/31~3/14
アクアワールド感謝祭2015	3/21~4/5

## (5) 管理運営部門

- ア 利用状況及び売上状況等各種データの分析を行うとともに、経営調整会議・販売戦略会議・マーケットプレイス連絡会議を定期的に開催するなど、経営状況を隨時把握し安定経営に努める。
- イ 事務事業の効率化を図るとともに、省エネルギー推進委員会を開催し、積極的に省エネ化に取り組みむなど、経費の節減を図り運営経費の節減を目標とした見直しを行い、効率的な予算執行に努める。
- ウ 職員の資質向上と効率的運営に資するため、接遇研修等の他、英会話の研修を行い国際化にも対応するなど入場者へのサービス向上に努める。
- エ 火災を想定した消防訓練のほか地震や津波を想定した避難訓練や不審者対策としての防犯訓練、さらには、AED救急救命講習のほか個人情報保護やパワハラ防止などのコンプライアンス関係の研修等を実施し、職員の危機管理意識や危機対応能力の向上を図る。
- オ 繁忙期の駐車場確保対策として、大洗港第4埠頭の借り上げ及びシャトルバスの運行に加え、昨年度借用した隣接する大洗公園駐車場を借り上げ、駐車場の確保と周辺道路の渋滞緩和に努める。
- カ 生物飼料の残滓リサイクル実験における分析結果を踏まえ、製造された残滓肥料について、再資源化に向けた周知を行うとともに、花木及び農産物生産を行う専門機関に配布して有効活用を図る。
- キ 県有財産であるアクアワールド・大洗を都市公園法に基づき管理するに当たり、腐食や老朽化による施設設備の修繕箇所増加に対応し、財団の積立金を有効に活用し安全な施設管理を行う。

## 5 収益事業2（水族館売店事業）

地域に貢献する観光拠点施設として、マーケットプレイスの物販部門、コーヒーショップ及びミュージアムショップを運営し、賑わいの創出や地域産品等の販売を行い、水族館の収入確保を図るとともに、地域経済への貢献に努める。

また、オリジナル商品の開発、販売促進を行い、売上げ増に努めるとともに、ホームページの充実、さらには、LED化の促進等を行い、「地球に優しい環境」に改善していくことにより、ショップのイメージアップ及びサービスの向上に努める。

- ア マーケットプレイス物販部門「モラモラ」の運営  
ピルル・ブルル・ウルル・ミルルをはじめとするオリジナルキャラクター商品の販売促進に努めるとともに、適正在庫の推進、そして、季節毎の装飾、企画展

イベントとタイアップした関連商品の販売等により、利用者の購買意欲を高め、利用率の向上を図る。また、昨年に引き続き環境に配慮し、店舗什器照明のLED化の推進や、包装用資材の無駄削減等、資源の保護にも努める。

イ コーヒーショップ「マーメイドギャレー」の運営

季節やイベント等に合わせた「限定メニュー」や新メニューの開発を行い、収益確保に努めるとともに、当館導線の中間地点として「ちょっと一息できる空間（憩いの場）」を提供することにより、来館者に愛され親しまれるショップ運営に努める。

ウ ミュージアムショップ「ガレオス」の運営

ショップ名の由来であるサメを意識した商品を充実させ、モラモラとの区別化をより明確にし、ミュージアムショップとしての位置づけを確立してきたところであるが、今年度は、さらに、その意識を高めグレードアップした商品の取り扱い等を促進し、売上増を目指す。

## II 収 支 予 算

- 平成 26 年度公益財団法人いばらき文化振興財団収支予算書  
(損益ベース) ..... 15~16
- 平成 26 年度公益財団法人いばらき文化振興財団収支予算書  
(損益ベース) 内訳表 ..... 17~18
- 公益財団法人いばらき文化振興財団平成 25 年度資金調達及び  
設備投資の見込み書 ..... 19

**平成26年度 公益財団法人いばらき文化振興財団収支予算書(損益ベース)**  
 (平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位:千円)

科目 \ 区分	当年度予算	前年度予算	減 増
I 一般正味財産増減の部			
① 経常収益			
① 基本財産等運用益	510	510	0
基本財産等受取利息	19,150	18,571	579
② 特定資産運用益	2,401,767	2,228,456	173,311
③ 事業収益	29,513	41,390	△ 11,877
自主公演入場料収益	6,000	6,000	0
受託公演入場料収益	9,910	9,764	146
手数料収益	2,000	2,800	△ 800
負担金収益	32,999	28,000	4,999
受託公演委託金収益	4,671	4,668	3
文化の担い手育成事業委託金	184,870	179,735	5,135
県民文化センター指定管理収益	107,600	95,000	12,600
県民文化センター利用料収益	18,571	21,211	△ 2,640
自然博物館水系展示水槽	1,288,386	1,171,268	117,118
水族館入場料収益	47,000	44,520	2,480
飲食料収益	636,847	591,978	44,869
売店収益	2,400	2,100	300
諸収益	31,000	30,022	978
駐車場利用料収益	59,466	62,413	△ 2,947
④ 受取補助金等	57,166	62,413	△ 5,247
受取財団運営費補助金	2,300	0	2,300
受取助成金	12,661	11,671	990
⑤ 雑収益	12,661	11,671	990
雑収益	4,281	11,407	△ 7,126
⑥ 指定正味財産からの振替額	2,497,835	2,333,028	164,807
経常収益計(A)			0
(2) 経常費用			
① 事業費	2,831,985	2,490,874	341,111
文化活動団体等助成金	14,087	21,056	△ 6,969
役員報酬	11,634	11,663	△ 29
給料手当	481,991	468,721	13,270
賃金	167,255	158,291	8,964
福利厚生費	3,135	3,101	34
法定福利費	103,113	97,797	5,316
報償費	6,146	7,095	△ 949
旅費交通費	9,558	8,116	1,442
交際費	290	285	5
消耗品費	72,134	62,463	9,671
燃料費	73,280	68,628	4,652
会議費	2,164	2,695	△ 531
印刷製本費	30,314	24,514	5,800
光熱水費	247,157	229,351	17,806
修繕費	53,871	48,968	4,903
飼料費	24,470	23,830	640
医薬材料費	3,064	2,037	1,027
賄材料費	40,534	37,716	2,818
通信運搬費	7,058	7,071	△ 13
広告料	47,807	38,404	9,403
手数料	57,771	42,802	14,969
保険料	2,060	2,008	52
委託料	542,484	491,831	50,653
賃借料	63,013	52,038	10,975
工事請負費	73,780	68,030	5,730
原材料費	347,706	317,938	29,768
生物購入費	11,262	13,939	△ 2,677
消耗備品費	1,229	1,070	159
負担金	7,825	5,920	1,905
租税公課費	38,073	29,009	9,064
退職給付費用	0	29,685	△ 29,685
雑 費	100	100	0
修繕工事負担金	263,143	92,802	170,341
県納付金	6,000	6,000	0
減価償却費	18,497	15,900	2,597

(単位:千円)

科目 \ 区分	当年度予算	前年度予算	減 増
② 管理費	11,980	11,420	560
役員報酬	1,850	1,712	138
給料手当	7,473	6,681	792
賃金	129	130	△ 1
福利厚生費	4	5	△ 1
法定福利費	1,475	1,308	167
旅費交通費	195	195	0
消耗品費	101	96	5
燃料費	6	5	1
会議費	26	25	1
印刷製本費	346	337	9
通信運搬費	23	21	2
手数料	29	27	2
委託料	85	84	1
賃借料	182	142	40
消耗備品費	1	1	0
負担金	23	39	△ 16
租税公課費	2	5	△ 3
退職給付費用	0	604	△ 604
減価償却費	30	3	△ 27
経常費用計(B)	2,843,965	2,502,294	341,671
当期経常増減額(A)-(B)	△ 346,130	△ 169,266	△ 176,864
2 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計(C)	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計(D)	0	0	0
当期経常外増減額(C)-(D)	0	0	0
他会計振替額(E)	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 346,130	△ 169,266	△ 176,864
一般正味財産期首残高	1,889,311	1,791,547	97,764
一般正味財産期末残高	1,543,181	1,622,281	△ 79,100
II 指定正味財産増減の部			0
① 一般正味財産への振替額	△ 4,281	△ 11,407	7,126
当期指定正味財産増減額	△ 4,281	△ 11,407	7,126
指定正味財産期首残高	684,795	693,485	△ 8,690
指定正味財産期末残高	680,514	682,078	△ 1,564
III 正味財産期末残高	2,223,695	2,304,359	△ 80,664

平成26年度 公益財団法人いばらき文化振興財団収支予算書(損益ベース) 内訳表  
(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位:千円)

科目 \ 区分	公益目的事業会計			収益事業会計			法人会計	合計
	公1 文化 振 興 事 業	公2 水族 館 事 業	小計	収1 文 化 自 セ ン 事 タ ー	収2 水 族 館 売 店 事 業	小計		
I. 一般正味財産増減の部								
1 経常増益の部								
(1) 経常収益								
① 基本財産等運用益	108	402	510	0	0	0	0	510
基本財産等受取利息	108	402	510	0	0	0	0	510
② 特定資産運用益	11,371	2,298	13,669	238	250	488	4,993	19,150
③ 事業収益	366,480	1,306,957	1,673,437	112,483	615,847	728,330	0	2,401,767
自主公演入場料収益	29,513	0	29,513	0	0	0	0	29,513
受託公演入場料収益	6,000	0	6,000	0	0	0	0	6,000
手数料収益	9,910	0	9,910	0	0	0	0	9,910
負担金収益	2,000	0	2,000	0	0	0	0	2,000
受託公演委託金収益	32,999	0	32,999	0	0	0	0	32,999
文化の担い手育成事業委託金	4,671	0	4,671	0	0	0	0	4,671
県民文化センター指定管理収益	184,870	0	184,870	0	0	0	0	184,870
県民文化センター利用料収益	96,517	0	96,517	11,083	0	11,083	0	107,600
自然博物館水系展示水槽	0	18,571	18,571	0	0	0	0	18,571
水族館入場料収益	0	1,288,386	1,288,386	0	0	0	0	1,288,386
飲食料収益	0	0	0	47,000	0	47,000	0	47,000
売店収益	0	0	0	21,000	615,847	636,847	0	636,847
諸収益	0	0	0	2,400	0	2,400	0	2,400
駐車場利用料収益	0	0	0	31,000	0	31,000	0	31,000
④ 受取補助金等	32,303	19,865	52,168	0	0	0	7,298	59,466
受取財団運営費補助金	30,003	19,865	49,868	0	0	0	7,298	57,166
受取助成金	2,300	0	2,300	0	0	0	0	2,300
⑤ 雑収益	1,061	3,040	4,101	0	8,560	8,560	0	12,661
雑収益	1,061	3,040	4,101	0	8,560	8,560	0	12,661
⑥ 指定正味財産からの振替額	4,281	0	4,281	0	0	0	0	4,281
経常収益計(A)	415,604	1,332,562	1,748,166	112,721	624,657	737,378	12,291	2,497,835
(2) 経常費用								
① 事業費	453,200	1,623,509	2,076,709	112,679	642,597	755,276	0	2,831,985
文化活動団体等助成金	14,087	0	14,087	0	0	0	0	14,087
役員報酬	2,853	7,617	10,470	0	1,164	1,164	0	11,634
給料手当	128,059	279,418	407,477	28,378	46,136	74,514	0	481,991
賃金	8,254	107,293	115,547	16,428	35,280	51,708	0	167,255
福利厚生費	135	2,252	2,387	131	617	748	0	3,135
法定福利費	21,713	61,529	83,242	6,986	12,885	19,871	0	103,113
報償費	5,412	734	6,146	0	0	0	0	6,146
旅費交通費	2,376	5,596	7,972	58	1,528	1,586	0	9,558
交際費	35	188	223	15	52	67	0	290
消耗品費	13,548	44,767	58,315	2,295	11,524	13,819	0	72,134
燃料費	4,446	59,479	63,925	190	9,165	9,355	0	73,280
会議費	1,392	554	1,946	65	153	218	0	2,164
印刷製本費	10,449	15,206	25,655	468	4,191	4,659	0	30,314
光熱水費	34,607	180,592	215,199	4,399	27,559	31,958	0	247,157
修繕費	20,111	31,400	51,511	378	1,982	2,360	0	53,871
飼料費	0	24,470	24,470	0	0	0	0	24,470
医薬材料費	63	2,973	3,036	0	28	28	0	3,064
賄材料費	0	0	0	13,630	26,904	40,534	0	40,534
通信運搬費	2,730	3,345	6,075	93	890	983	0	7,058
広告料	7,843	31,154	38,997	217	8,593	8,810	0	47,807
手数料	4,900	40,598	45,498	650	11,623	12,273	0	57,771
保険料	432	986	1,418	290	352	642	0	2,060
委託料	131,332	339,980	471,312	14,037	57,135	71,172	0	542,484
賃借料	14,472	34,649	49,121	4,483	9,409	13,892	0	63,013
工事請負費	0	64,735	64,735	0	9,025	9,025	0	73,760
原材料費	0	0	0	14,280	333,426	347,706	0	347,706
生物購入費	0	11,262	11,262	0	0	0	0	11,262
消耗備品費	0	813	813	192	224	416	0	1,229
負担金	1,084	4,679	5,763	61	2,001	2,062	0	7,825
租税公課費	15,880	14,596	30,476	3,754	3,843	7,597	0	38,073

(単位:千円)

科目 \ 区分	公益目的事業会計			収益事業会計			法人会計	合 計
	公1 文化 振興 事業	公2 水族 館事 業	小 計	収1 文化 自 主 セ ン タ ー 事 業	収2 水族 館充 店事 業	小 計		
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	0	78	78	0	22	22	0	100
修繕工事負担金	0	238,936	238,936	0	24,207	24,207	0	263,143
県納付金	6,000		6,000			0	0	6,000
減価償却費	997	13,630	14,617	1,201	2,679	3,880	0	18,497
② 管理費	0	0	0	0	0	0	11,980	11,980
役員報酬	0	0	0	0	0	0	1,850	1,850
給料手当	0	0	0	0	0	0	7,473	7,473
賃金	0	0	0	0	0	0	129	129
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	4	4
法定福利費	0	0	0	0	0	0	1,475	1,475
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	195	195
消耗品費	0	0	0	0	0	0	101	101
燃料費	0	0	0	0	0	0	6	6
会議費	0	0	0	0	0	0	26	26
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	346	346
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	23	23
手数料	0	0	0	0	0	0	29	29
委託料	0	0	0	0	0	0	85	85
賃借料	0	0	0	0	0	0	182	182
消耗備品費	0	0	0	0	0	0	1	1
負担金	0	0	0	0	0	0	23	23
租税公課費	0	0	0	0	0	0	2	2
減価償却費	0	0	0	0	0	0	30	30
経常費用計(B)	453,200	1,623,509	2,076,709	112,679	642,597	755,276	11,980	2,843,965
当期経常増減額(A)-(B)	△ 37,596	△ 290,947	△ 328,543	42	△ 17,940	△ 17,898	311	△ 346,130
2 経常外増減の部								
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計(C)	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計(D)	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額(C)-(D)	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額(E)	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 37,596	△ 290,947	△ 328,543	42	△ 17,940	△ 17,898	311	△ 346,130
一般正味財産期首残高	146,990	1,403,214	1,550,204	80,173	258,906	339,079	28	1,889,311
一般正味財産期末残高	109,394	1,112,267	1,221,661	80,215	240,966	321,181	339	1,543,181
II 指定正味財産増減の部								
① 一般正味財産への振替額	△ 4,281	0	△ 4,281	0	0	0	0	△ 4,281
当期指定正味財産増減額	△ 4,281	0	△ 4,281	0	0	0	0	△ 4,281
指定正味財産期首残高	684,795	0	684,795	0	0	0	0	684,795
指定正味財産期末残高	680,514	0	680,514	0	0	0	0	680,514
III 正味財産期末残高	789,908	1,112,267	1,902,175	80,215	240,966	321,181	339	2,223,695

公益財団法人いばらき文化振興財団  
 平成26年度資金調達及び設備投資の見込み書  
 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)

**1. 資金の調達の見込み**

借入予定の有無 なし

**2. 設備投資の見込み**

事業番号	設備投資の内容	支出予定額(千円)	資金調達方法
取 得	公2 魚類剥製標本製作	540	自己資金
	公2 活魚輸送用コンテナ水槽(4トン積1槽式)	1,728	自己資金
	公2 電動フォークリフト(1.5t)	2,020	自己資金
	公2 アクアウォッキング用水中マスク	162	自己資金
	収2 クラゲ水槽展示	437	自己資金
	公2 クラゲ水槽展示用冷却ユニット	616	自己資金
	公2 ショー用アシカ踏み台作成	2,538	自己資金
	公2 ハンドリーダーARE H-5 キットセット	1,458	自己資金
	公2 電動チェーンブロック AS-K4960(象印)	121	自己資金
	公2 海獣用体温計	117	自己資金
	公2 企画展(プランクトン展)用60型液晶モニター	270	自己資金
	公2 企画展(プランクトン展)用クレーセル水槽	324	自己資金
	公2 企画展(プランクトン展)用映像装置付き顕微鏡	281	自己資金
	公2 出会いの海の大水槽上部スクリーン設置	518	自己資金
	公2 イベント用トラス	540	自己資金
	公2 臨時券売所ブース	714	自己資金
計		12,384	